

防災

たかおか

自分と家族の命を
守るために



そのときどうする？

水害から命を守る…………… 1
土砂災害から命を守る…………… 3
情報を得る…………… 5
地震から命を守る…………… 7

津波から命を守る…………… 11
避難について学ぶ…………… 13
災害に備える…………… 16



水害ハザードマップをチェック

台風や大雨による風水害は、地震と比べると事前に予測がしやすい災害です。
水害ハザードマップを使って自宅の浸水深を確認しておきましょう。

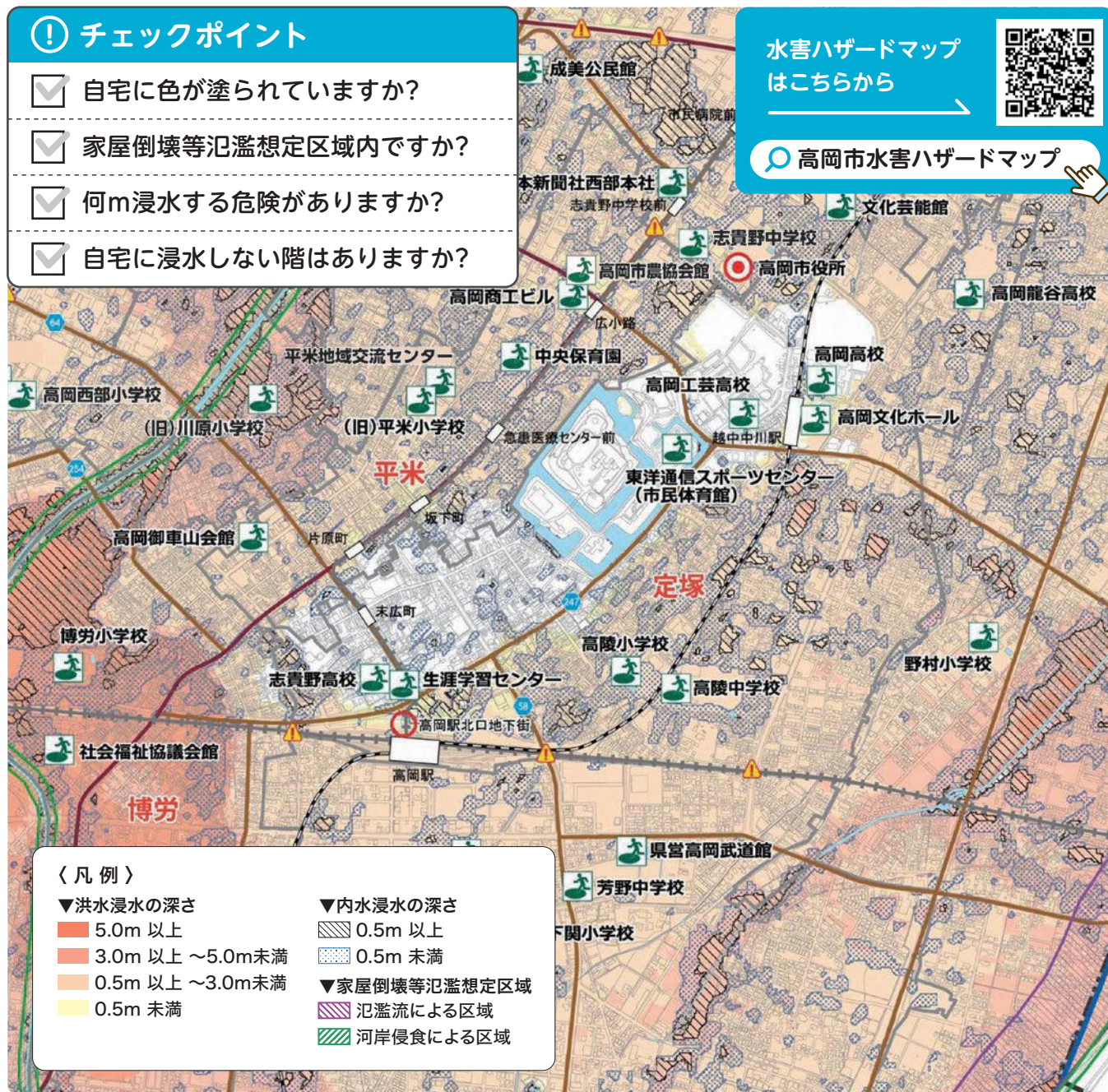
① チェックポイント

- ☒ 自宅に色が塗られていますか？
- ☒ 家屋倒壊等氾濫想定区域内ですか？
- ☒ 何m浸水する危険がありますか？
- ☒ 自宅に浸水しない階はありますか？

水害ハザードマップ
はこちらから



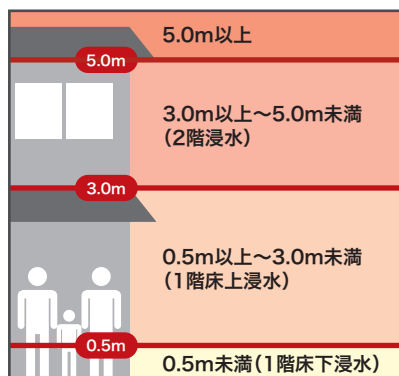
高岡市水害ハザードマップ



〈凡例〉

- | | |
|----------------|--------------|
| ▼洪水浸水の深さ | ▼内水浸水の深さ |
| 5.0m 以上 | 0.5m 以上 |
| 3.0m 以上～5.0m未滿 | 0.5m 未滿 |
| 0.5m 以上～3.0m未滿 | ▼家屋倒壊等氾濫想定区域 |
| 0.5m 未滿 | 氾濫流による区域 |
| | 河岸侵食による区域 |

洪水浸水ランクによる色分け



MEMO

内水浸水について

排水が追いつかずに側溝などから水があふれることを内水浸水と言います。浸水が50cmを超えると(大人のひざ上の高さ)歩くことが難しくなります。

▼内水浸水の深さ
0.5m 以上 0.5m 未滿





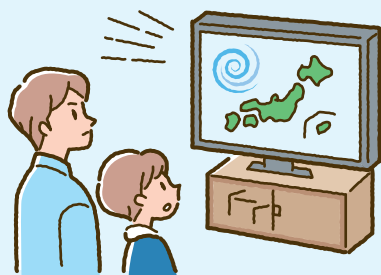
水害の場合の避難行動

外であまり雨が降っていないくても、上流で降った雨により河川が増水していることもあります。気象情報や高岡市からの避難情報を確認し、早めの避難を心がけましょう。

水害ハザードマップで
自宅に色が塗られていない
(浸水が想定されていない)

屋内安全確保

外出は控え、今後の気象情報に注意しましょう。



自宅に浸水しない
階がある

屋内安全確保 (垂直避難)

自宅の上階などへ移動して、安全を確保しましょう。

※浸水が長期間継続(3日以上)する区域では、十分な備蓄に努めるとともに、早期の立退き避難を検討してください。



家屋倒壊等氾濫想定区域内にある、または自宅内に浸水しない階がない

立退き避難 (水平避難)

市の指定緊急避難場所や安全な地域に住む親戚・知人家などへ避難しましょう。



避難するときのポイント

● 避難は早めに

夜間の避難や、浸水が50cmを超えた場所での避難は危険です。浸水する前に地域で声をかけあって早めに避難しましょう。



● 動きやすい服装で

荷物は必要最小限にし、リュックなど両手があくようにしましょう。足元は長靴ではなく運動靴で避難しましょう。



● 足元に注意

側溝やふたが外れたマンホールに落下するかもしれません。確認しながら歩きましょう。



● 車で避難しない

浸水でエンジンが止まったりして危険です。できるだけ徒歩で避難しましょう。



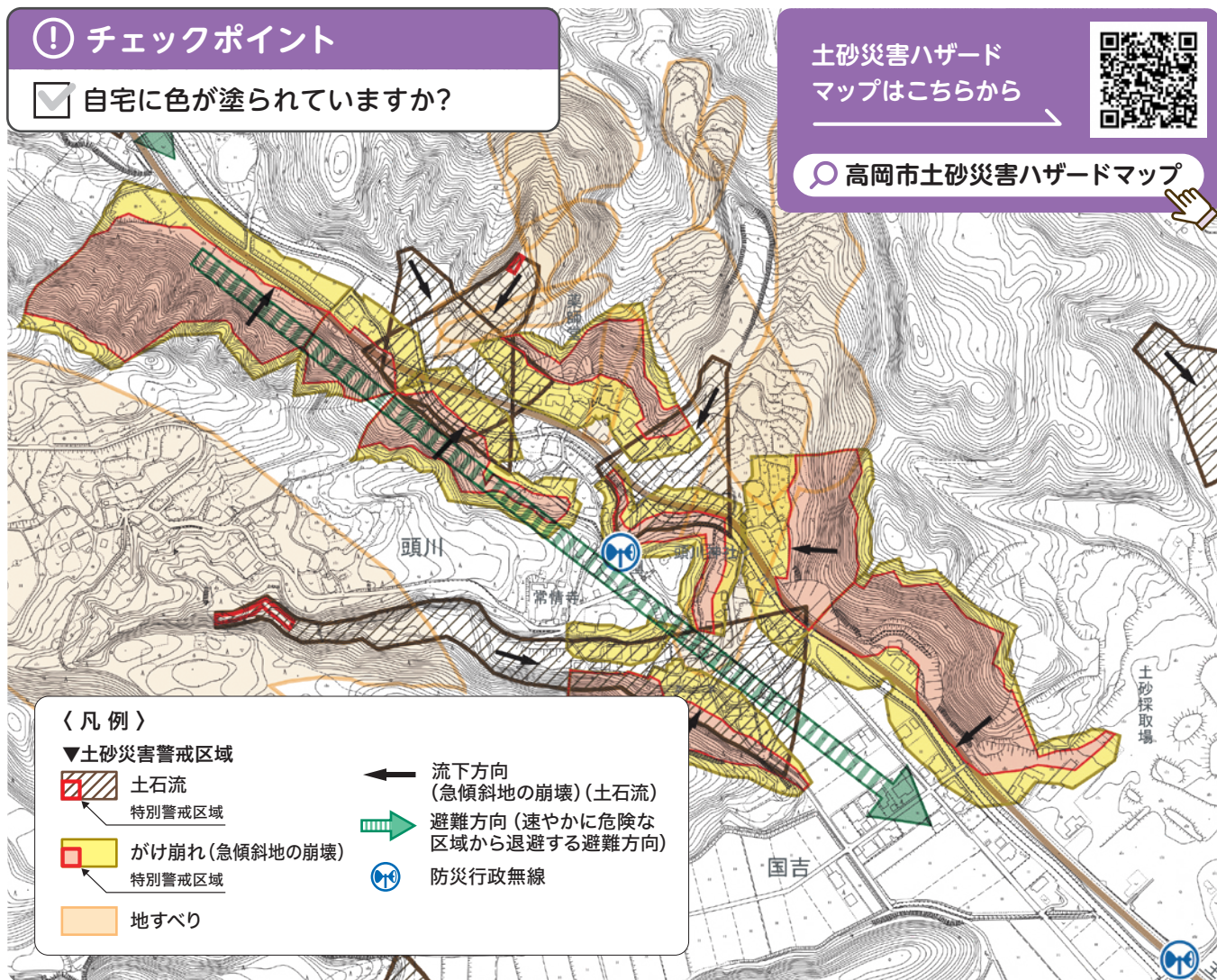


土砂災害ハザードマップをチェック

高岡市では、土砂災害の危険がある地域において土砂災害ハザードマップを作成しています。土砂災害ハザードマップを使って土砂災害警戒区域や避難方向を確認しておきましょう。

土砂災害ハザードマップを作成している地区：

太田、伏木、古府、二上、守山、国吉、石堤、赤丸、西五位、五位山、中田



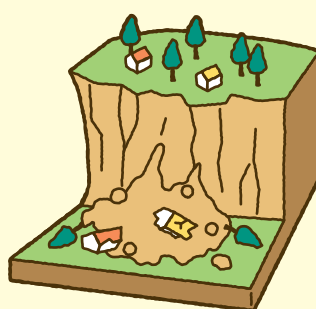
土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより一気に下流へ押し流される現象。



がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響により、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、ゆっくりと斜面が下方へ滑る現象。



土砂災害の場合の避難行動

土砂災害は一瞬のうちに大きな被害をもたらします。逃げ遅れることのないよう、雨が強くなる前に早めに避難することが大切です。

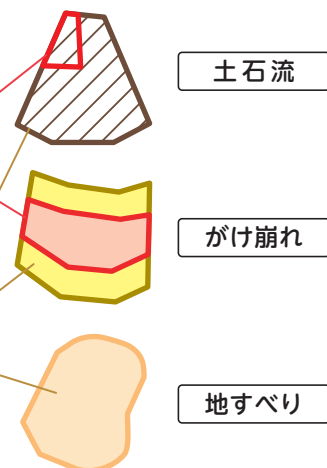
▶土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

土砂災害により建築物に損壊が生じ住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害警戒区域

土砂災害により住民の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域



土砂災害ハザードマップで
自宅に色が塗られていない
(土砂災害警戒区域の外にある)

屋内安全確保

外出は控え、
今後の気象情
報に注意しま
しょう。



自宅は土砂災害警戒区域内にある

立退き避難(水平避難)

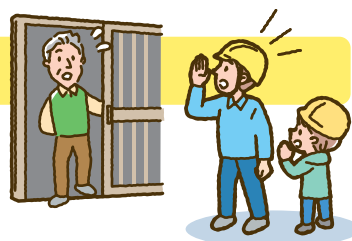
市の指定緊急避難場所や
土砂災害警戒区域の外に
住む親戚・知人宅など安全
な場所へ避難しましょう。



避難するときのポイント

● 避難は早めに

豪雨や長雨が続いたら、地域で声をかけあって早めに避難しましょう。



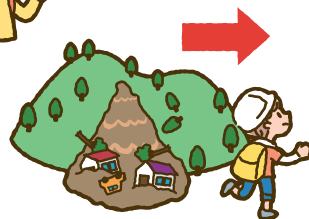
● 動きやすい服装で

荷物は必要最小限にし、リュックなど両手があくようにしましょう。
足元は長靴ではなく運動靴で避難しましょう。



● 逃げ方を確認

土石流はスピードが速いため、流れの向きに対して直角に避難しましょう。



● 逃げ遅れたら

土砂災害警戒区域の外への立退き避難が原則ですが、安全に避難できない場合は、崖などから少しでも離れた2階以上の部屋へ移動しましょう。





避難情報と避難行動

洪水や土砂災害の危険度が高まったら、高岡市は避難情報を発令し、避難を呼びかけます。自分が避難行動を開始するタイミングを確認しておきましょう。

	住民がとるべき行動	避難情報など	気象情報など(国土交通省、気象庁、富山県が発表)
警戒レベル 5	命の危険があるため、ただちに身の安全を確保	緊急安全確保 (高岡市が発令)	警戒レベル5相当情報 大雨特別警戒 氾濫発生情報
⚠ 警戒レベル4「避難指示」までに必ず避難			
警戒レベル 4	速やかに危険な場所から全員避難 	避難指示 (高岡市が発令)	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
警戒レベル 3	高齢者など避難に時間を要する方は危険な場所から避難(その他の人は避難の準備) 	高齢者等避難 (高岡市が発令)	警戒レベル3相当情報 大雨警戒・洪水警戒・氾濫警戒情報
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどで避難行動を確認 	大雨注意報 洪水注意報 (気象庁が発表)	警戒レベル相当情報はみなさんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル 1	災害への心構えを高める 	早期注意情報 (気象庁が発表)	

※警戒レベル3高齢者等避難の発令に合わせて、高岡市は指定緊急避難場所を開設します。

※警戒レベル5緊急安全確保は、必ず発令されるとは限りません。警戒レベル4避難指示までに必ず避難しましょう。

避難行動のポイント

- 大雨や台風に合わせて、避難開始のタイミングや避難行動をあらかじめ決めておきましょう。



- 明るい時間帯のうちに親戚宅に身を寄せるなど、早めの避難を心がけましょう。



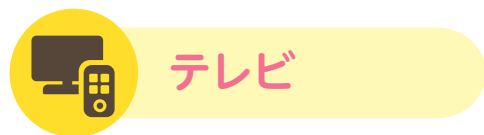
- 避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じたら自主的に避難しましょう。





防災情報を入手する

テレビ、ラジオ、インターネット等で最新の気象情報や災害情報、避難情報を積極的に入手しましょう。



テレビのリモコンの「dボタン」を押すと気象や災害に関する情報を見ることができます。



高岡市を地点登録すると、高岡市に関する緊急情報や気象情報が自動的に届きます。

[詳細はこちら](#)



気象情報、指定河川洪水予報、土砂災害警戒情報などの防災情報をメールで配信します。災害に備えて登録しておきましょう。

[詳細はこちら](#)



避難情報など災害に関する情報を発信するとともに、事前の備えや市の取組を紹介しています。



川の水位や雨量、ライブカメラ画像などを確認することができます。



天気予報や気象の警報・注意報、台風情報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報などの災害情報



雨量メッシュ情報、土砂災害警戒情報などを確認できます。
(※メール配信サービスもあります。)



緊急避難が必要な沿岸部や土砂災害が想定される地域などに設置しているスピーカーで避難情報などを一斉に放送します。放送した内容をテレホンサービスで確認することもできます。

よく聞き取れなかったときはコチラ

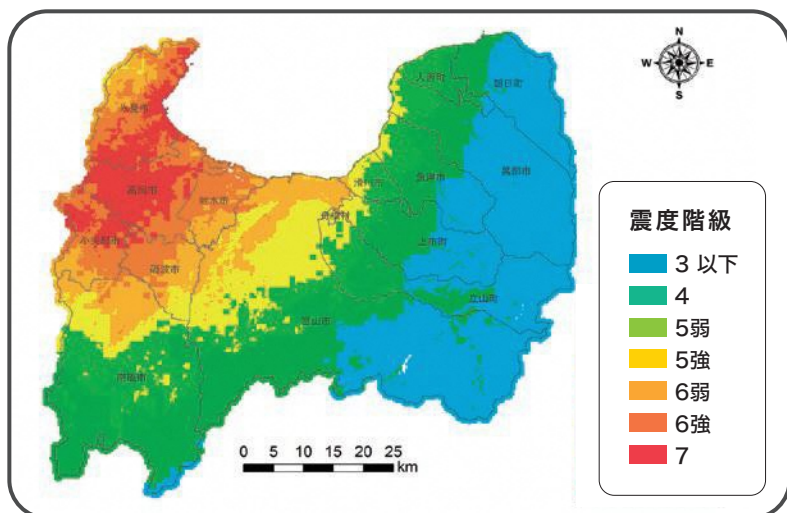
050-5530-8563

(通話料は利用者負担となります)

地震の震度予測と被害想定をチェック

高岡市では、邑知潟断層帯や呉羽山断層帯、砺波平野断層帯などで地震が発生した場合に、大きな被害が想定されています。邑知潟断層帯を震源とする地震が発生した場合、高岡市内のほぼ全域で最大震度7の揺れに見舞われる可能性があります。

震度分布予測図：邑知潟断層帯(ケース4)



市内の被害想定

建物(全壊) **46,574棟**

建物(半壊) **27,278棟**

死者 **1,996人**

負傷者 **9,311人**

震度ごとの揺れの目安

震度4

- ほとんどの人が驚く
- 置物が倒れることがある



震度6弱

- 立っていることが困難
- 耐震性の低い木造建物では倒壊するものもある
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れたり、ドアが開かなくなることがある



震度5弱

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる
- 棚にある食器類や本が落ちることがある



震度6強

- はわないと動くことができない
- 耐震性の低い木造建物は、倒れるものが増える



震度5強

- 物につかまらないう歩くことが難しい
- 固定していない家具が倒れることがある



震度7

- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造りの建物では、倒れるものが増える



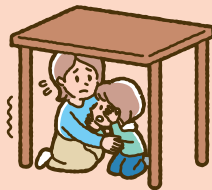
地震発生時の避難行動

いつ発生するか分からない地震では、とっさの判断が生死を分けることもあります。
いざというときに落ち着いて行動できるよう、普段から流れを確認しておきましょう。

地震発生

身の安全の確保

- ▶ 丈夫な机の下などに身を隠す



- ▶ 身を隠す場所がない場合は、座布団などで頭部を守る

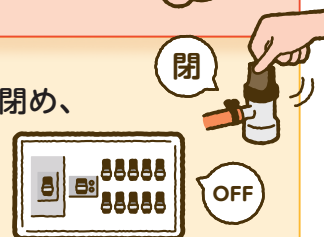


揺れがおさまったら

- ▶ 揺れがおさまってから落ち着いて火を消す



- ▶ ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす

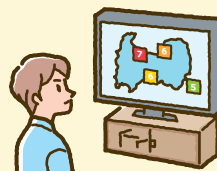


地震発生 5～10分後

- ▶ ドアや窓を開けて逃げ道を確保する



- ▶ テレビやラジオ、スマートフォンで情報収集



地震発生 10分～半日後

- ▶ 隣近所に声をかけ、安否確認



- ▶ 大きな火災や津波、がけ崩れのおそれがある場合は、安全な場所へ徒歩で避難する



- ▶ ライフライン(電気、水道)が停止していても、自宅に危険がなく住み続けられる状態なら、在宅での避難生活を考える。(無理に避難所に行く必要はない。)

避難するときのポイント

- ヘルメットなどで頭部を保護。



- 必要なものは非常持出袋にまとめ、荷物は最小限に。



- 近所の高齢者や障がい者、外国人に声をかけあい、協力して避難する。

- 狭い道、塀のある道、川べりは避ける。



こんな場所で地震が起きたら

屋内にいる場合

勤務先

- ▶ 窓際や資料棚などから離れ、机の下に入り身を守る。
- ▶ 揺れがおさまったら火元を確認する。



エレベーター

- ▶ 全ての階のボタンを押し、停止した階で降りる。
- ▶ 閉じ込められたら非常ボタンやインターホンで連絡し、救助を待つ。



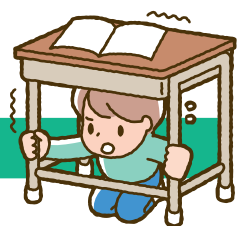
地下街

- ▶ あわてて非常口に向かうのではなく、大きな柱や壁に身を寄せ、揺れがおさまるのを待つ。



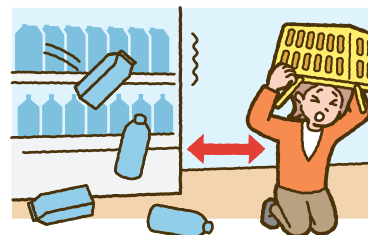
学校

- ▶ 先生の言うことをよく聞く。
- ▶ 教室にいるときは、机の下にもぐり、机の脚をしっかりと握って身を守る。
- ▶ 校庭にいたら、真ん中に集まってしゃがみ、揺れがおさまるのを待つ。



ショッピングセンター・スーパー

- ▶ ショーケースから離れ、手荷物や買い物カゴで頭を守る。
- ▶ あわてずに館内放送や店員の指示に従って行動する。



屋外にいる場合

車の運転中



- ▶ 徐々にスピードを落として道路の左側に停止し、エンジンを切る。
- ▶ 車を置いて避難する場合は、キーをつけたままにし、ロックしない。

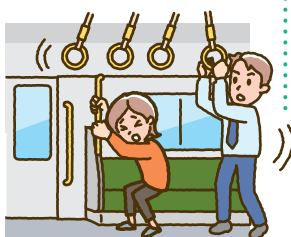
路上



- ▶ 窓ガラスや看板などの落下物に注意し、手荷物で頭を守りながら広場へ移動する。

電車やバスの中

- ▶ つり革や手すりにしっかりつかまる。
- ▶ 網棚からの荷物の落下に備え、頭を手荷物で守る。
- ▶ 勝手に車両から降りず、係員の指示に従う。



海岸・がけ付近

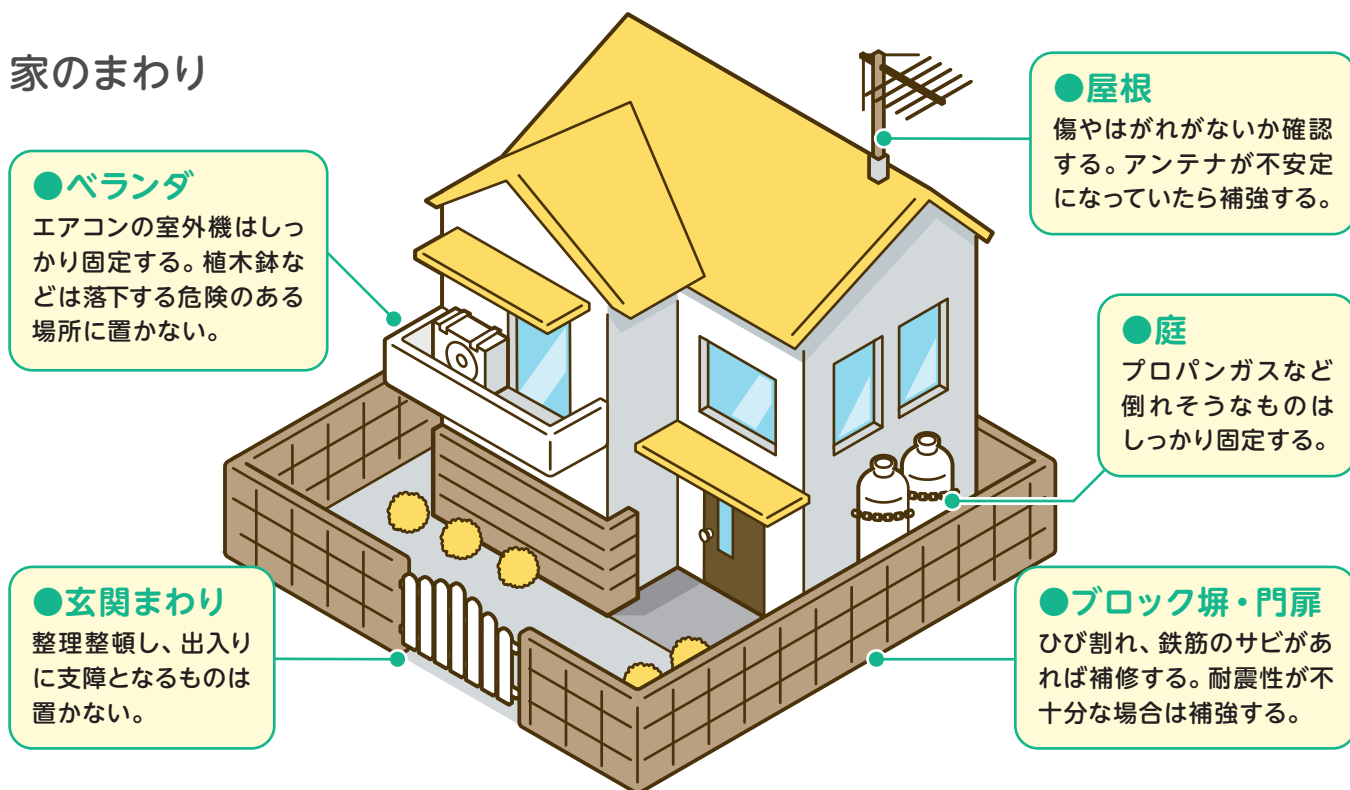
- ▶ 海岸にいたら、直ちにその場を離れて高台や近隣の高い建物、津波避難ビルへ避難する。
- ▶ 斜面やがけの近くは土砂災害の危険があるため、速やかに離れる。



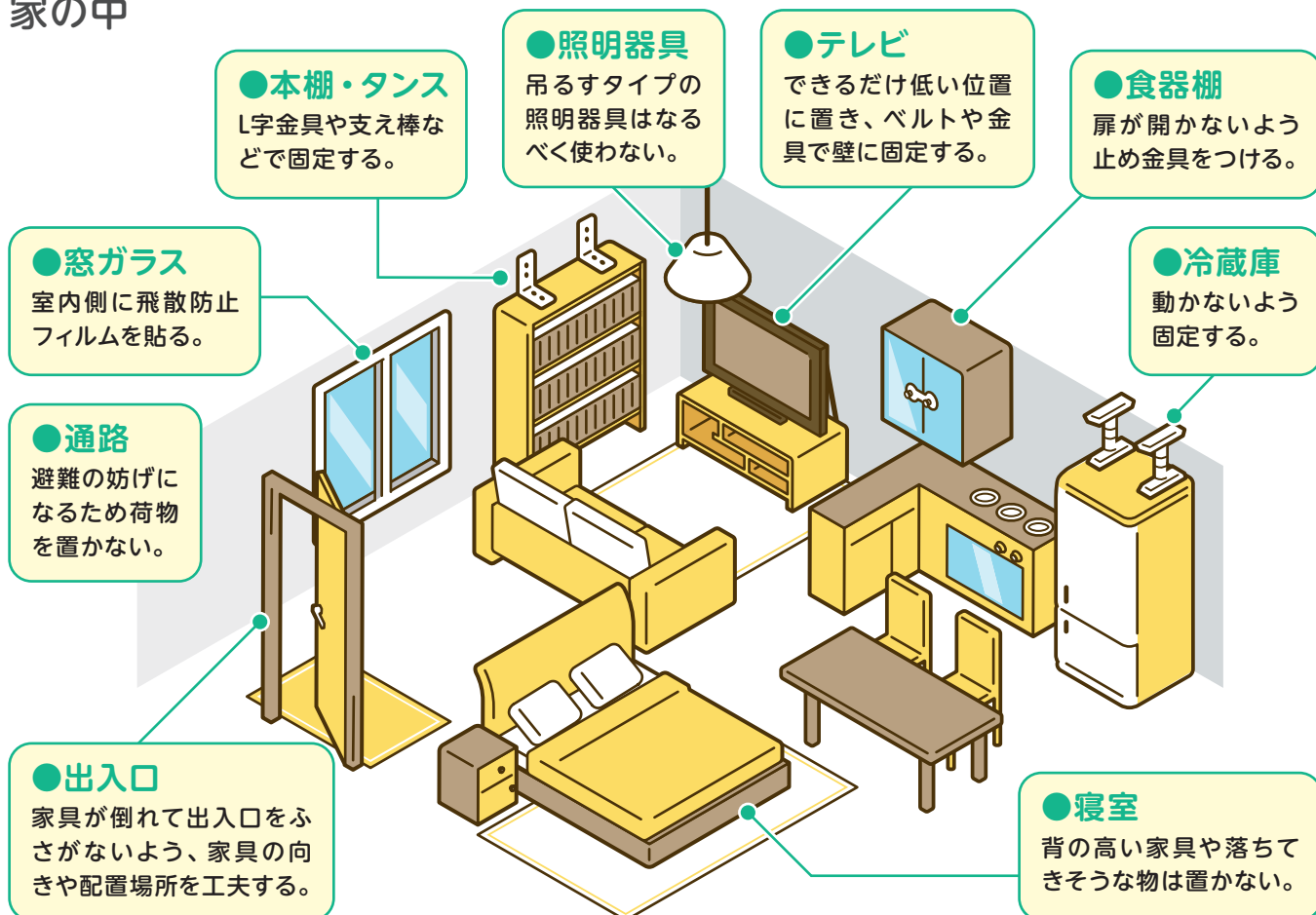
地震に備える

地震による被害を最小限にとどめるため、自宅の危険箇所を確認し、できることから対策しておきましょう。

家のまわり



家の中



津波ハザードマップをチェック

高岡市が作成する津波ハザードマップには、最大クラスの津波を想定した浸水範囲、浸水開始時間や避難場所などの情報をまとめています。

津波ハザードマップを作成している地区：**太田、伏木、古府、能町、牧野**



MEMO

浸水想定区域

津波が発生した場合に浸水が想定される範囲。津波発生時すぐに避難が必要。

避難対象地域

浸水は想定されていないが、確実な避難のために浸水想定区域より広い範囲で指定された地域。津波発生時に避難が必要。

津波の場合の避難

津波から身を守るには、津波が届かない場所へ避難するしかありません。
津波の危険がある場所では、揺れを感じたらすぐに避難することが大切です。

強い揺れや長い揺れを感じた
大津波警報・津波警報が発表された

津波注意報が
発表された

 浸水想定区域内
にいる場合

 避難対象地域内
にいる場合

避難対象地域外
にいる場合

海の中や沿岸部
にいる場合

すぐ避難する

浸水想定区域の外へ
逃げる

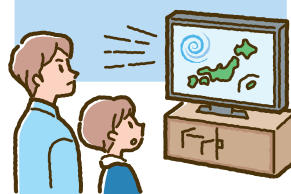


声をかけて避難

隣近所に声をかけあい
ながら避難を始める

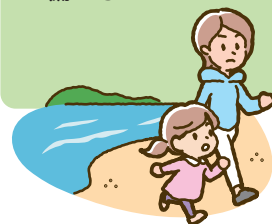


●テレビ、ラジオなど
から正しい情報を
入手し、避難に
備える
●危険を感じたら
すぐ避難する



●すぐにその場を
離れる

●テレビ、ラジオなど
から正しい情報を
入手し、避難に
備える



避難対象地域の
外へ逃げる

- 海岸・河川から離れる
- より高い場所を目指す
- 原則徒歩で逃げる

避難するときのポイント

●「より遠く」「より高い」場所を目指す

ここなら安心と思わず、より遠く、より高い場所へ逃げましょう。



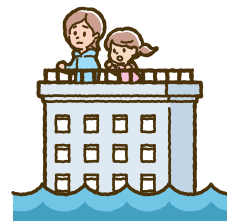
●避難は徒歩で

渋滞中に津波に巻き込まれるおそれがあります。避難は徒歩が原則です。



●逃げ遅れたときは

すでに浸水が始まってしまって安全な場所へ避難する時間的余裕がないときは、津波避難ビルや近くの頑丈な高いビルに逃げることを考えましょう。



●津波は繰り返しやってくる

警報・注意報が解除され、安全が確認されるまでは戻ってはいけません。



避難とは

「避難」とは「難」を「避」けること。小中学校や地域交流センターに行くことだけが避難ではありません。いざというとき、自分や家族はどこに、どのように避難すればよいか考えてみましょう。

市の指定緊急避難場所※ や届出避難所

※小中学校、
地域交流センターなど

避難場所で1～2泊できるだけの食料・水、生活用品を持参しましょう。



安全な地域に住む 親戚・知人宅

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。



立退き避難(水平避難)

避難の種類

屋内安全確保
(垂直避難)

安全なホテル・旅館

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。



屋内安全確保(垂直避難)

安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

※土砂災害の危険がある地域では立退き避難が原則です。



ハザードマップで次の3つの条件を確認できれば、自宅の中の安全な場所にとどまります

3つの条件

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

2 浸水深よりも居室が高い

3 水がひくまでの水・食料などの備えがある

避難場所・避難所の種類

● 指定緊急避難場所

災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所。洪水、土砂災害、津波、地震等の災害種別ごとに高岡市が指定しています。

● 広域避難場所

地震や大規模火事の場合の避難場所。公園やグラウンドを指定しています。

● 届出避難所

自治会等からの届出により、あらかじめ登録された自治公民館など。

● 指定避難所

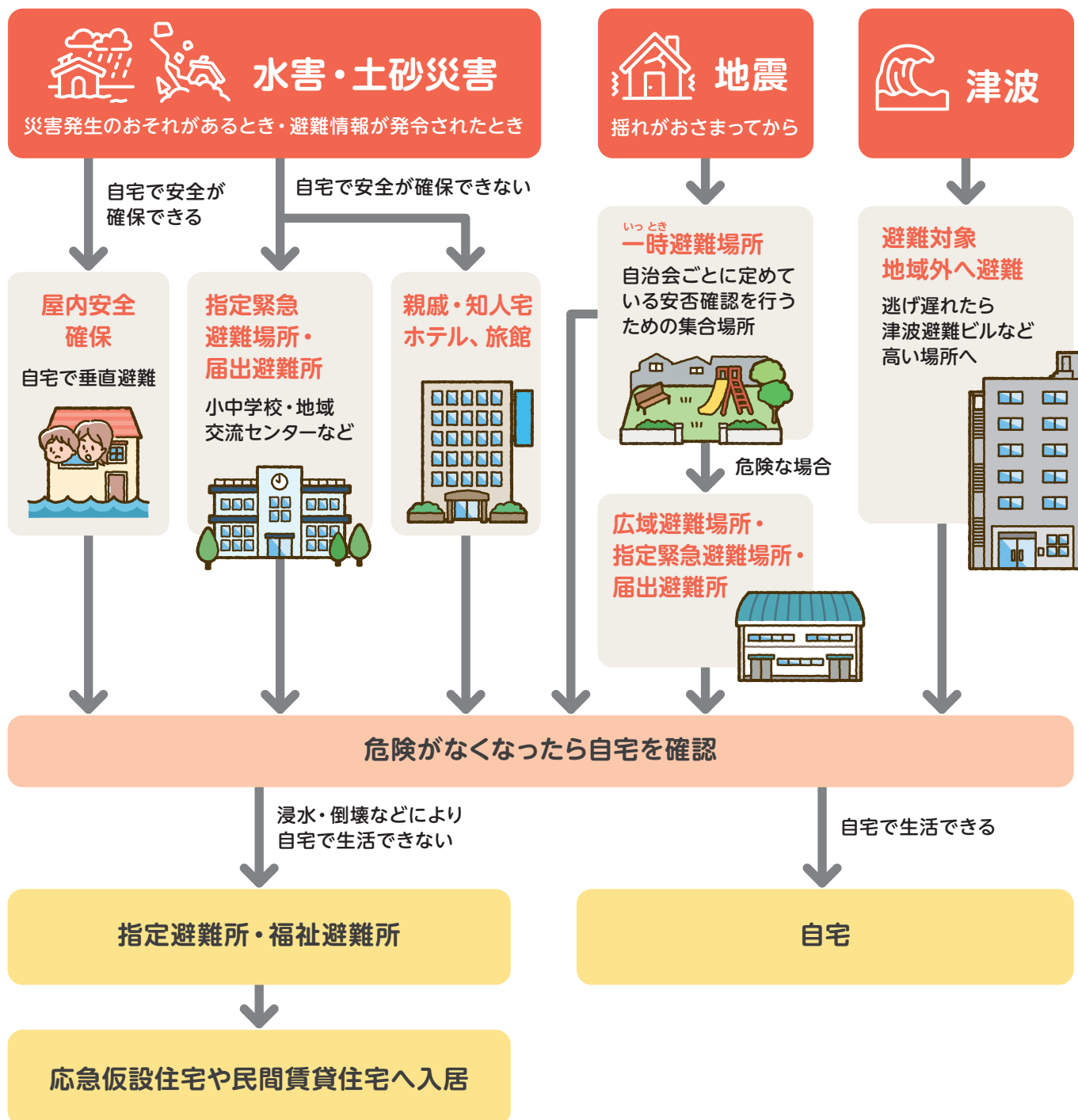
被災者が一定期間生活するための施設。災害種別に限らず指定しています。

● 福祉避難所

避難生活において特別な配慮を要する方が避難する施設。

災害別の避難の流れ

災害の種類によって、避難する場所が異なります。



PICK UP

災害の種類によって、最寄りの避難場所が異なることがあります。市の指定緊急避難場所や指定避難所は、最新の情報をホームページで確認しておきましょう。

災害時の避難施設
一覧はこちら



高岡市 災害時の避難施設



避難所での生活

避難所では多くの人が共同生活を送ります。

ルールを守り、思いやりや配慮をもって、互いに助け合いながら生活しましょう。

避難所の運営

- 避難所は、避難者や地域の方が中心となって運営します。
- 避難所にいる全員で役割分担をし、助け合って避難生活を送ります。
大人も子どもも積極的に避難所の運営に参加しましょう。
- 避難所での生活ルールは各避難所で避難者同士が話し合って決めます。
消灯時刻、トイレの使い方、ゴミ出しなどのルールを守りましょう。

避難所生活で心がけること

自分自身の健康管理

- こまめにうがい・手洗いをし感染症や食中毒を予防
- エコノミークラス症候群防止のため、十分に水分をとり、適度な運動を
- ストレスや不安を感じたら、無理せずに専門家へ相談



要配慮者への対応

高齢者や障がい者、妊産婦・乳幼児、外国人など支援や配慮を必要としている方に積極的に声をかけて助け合いましょう。

高齢者

- 頻繁に声をかけ、孤立させないようにする
- 援助が必要な時は複数人で対応する
- 足腰が弱っている方を介助する

女性・妊婦・乳幼児

- 着替え、授乳などプライバシーへ配慮する
- 妊娠中、産後間もない方への健康面で配慮する

障がい者

- 車いすの補助は3人以上で行う
- 目の不自由な人には「お手伝いしましょうか」と声をかける
- 耳の不自由な人には筆談で要点を分かりやすく

子ども

- 遊ぶスペースを作り、気分転換できるように

外国人

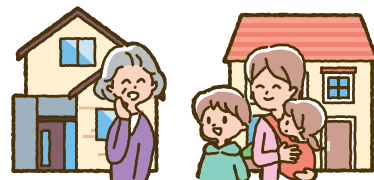
- 簡単な言葉でゆっくりと話しかけ、情報を伝える

地域で備える

災害が起きたとき、犠牲者を少しでも減らすために極めて重要になるのが隣近所の助け合いです。普段から自治会や自主防災組織の活動に積極的に参加し、もしものときに備えましょう。

👉 近所付き合いから始める

近所の人の顔を知り、自分を覚えてもらうことは、人を助けるだけでなく、もしものときに自分を助けてもらうことにもつながります。積極的にあいさつを交わしましょう。



👉 自主防災組織の活動に参加する

自主防災組織とは、地域住民が協力して防災活動を行う組織のことです。地域で行われる防災訓練や防災講習会には積極的に参加しましょう。

平常時の活動

● 防災知識の普及啓発

例：防災講習会、防災運動会、地域の祭りで防災イベントの実施

● 防災訓練

防災訓練の種類：初期消火訓練、避難誘導訓練、救出・救護訓練、情報収集・伝達訓練、炊き出し訓練、避難所運営訓練

● 防災資機材の整備

● 要配慮者の把握・対策



災害時の活動

● 初期消火

● 避難誘導・安否確認

● 負傷者の救出・救護

● 情報の収集・伝達

● 避難所の開設・運営

● 避難行動要支援者の支援



PICK UP

避難行動要支援者を支える

「避難行動要支援者」とは、災害時にひとりで避難することが難しく、何らかの手助けが必要な方をいい、高齢者や障がい者、難病患者の方などが含まれます。日頃から地域の避難行動要支援者を把握し、災害時には地域で協力して支援しましょう。



非常持出袋を用意する

非常持出袋は、1人1つずつ用意します。急いで避難しなければならないときのために、必要なものをリュックサックにまとめておきましょう。



✓ 非常持出袋

避難所で1～2泊できるだけの食料や生活用品を入れておきましょう。
すぐ持ち出せるように玄関近くに置き場所を確保しましょう。

非常食品

- ☒ 飲料水
- ☒ 非常食
- ☒ お菓子

(あめ、チョコレートなど)



貴重品

- ☒ 現金、小銭
- ☒ 通帳、印鑑



生活用品

- ☒ 携帯トイレ
- ☒ 充電器、電池
- ☒ タオル
- ☒ ティッシュ
- ☒ ビニール袋
- ☒ 着替え
- ☒ 防寒具、雨具



防災用品

- ☒ ヘルメット
- ☒ 懐中電灯
- ☒ 携帯ラジオ
- ☒ 軍手



衛生用品

- ☒ マスク
- ☒ ウェットティッシュ
- ☒ 救急セット
- ☒ 常備薬、お薬手帳
- ☒ 生理用品



● 家族構成によって必要なもの

乳幼児

- ☒ ミルク、離乳食
- ☒ 哺乳瓶
- ☒ おむつ
- ☒ おしりふき
- ☒ 母子手帳



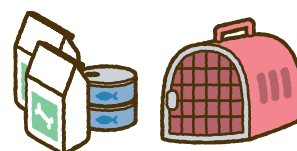
高齢者

- ☒ 柔らかい非常食
- ☒ おむつ
- ☒ 入れ歯、補聴器
- ☒ 予備のめがね



ペット

- ☒ ペットフード
- ☒ トイレ用品
- ☒ リード、ケージ



備蓄する

発災後、ライフラインが復旧するまでを乗り切るための備えをしましょう。

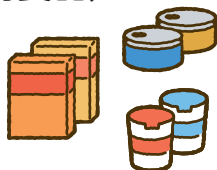


✓ 備蓄品

食料と飲料水は最低3日分、できれば1週間分を備蓄しておきましょう。
自宅が倒壊して取り出せなくなることを防ぐため、車庫や物置、2階などに分散して保管しましょう。

食品など

- ✓ 水(飲用・生活用)
- ✓ 食料(缶詰、レトルト食品、インスタント食品、栄養補助食品)



衛生用品

- ✓ マスク
- ✓ ウェットティッシュ
- ✓ 救急セット
- ✓ 常備薬
- ✓ 生理用品



生活用品

- ✓ 携帯トイレ
- ✓ ポリタンク(給水用)
- ✓ 充電器、電池
- ✓ ラップ
- ✓ アルミホイル
- ✓ 紙コップ、紙皿、わりばし
- ✓ ティッシュペーパー
- ✓ トイレットペーパー
- ✓ ライター
- ✓ 缶切り、ナイフ
- ✓ ガムテープ
- ✓ 新聞紙
- ✓ 使い捨てカイロ
- ✓ スリッパ
- ✓ ブルーシート



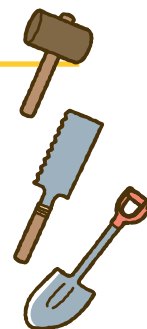
燃料

- ✓ カセットコンロ
- ✓ カセットボンベ
- ✓ 充電器、電池



工具

- ✓ バール
- ✓ ハンマー
- ✓ のこぎり
- ✓ スコップ



携帯トイレ※の使い方

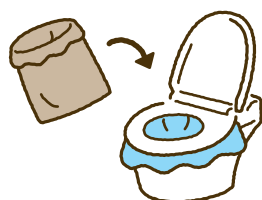
※汚物袋と凝固剤がセットになっているもの

1 大きめのゴミ袋(45L)を便器にかぶせる



便器内の水に汚物袋が触れないように

2 携帯トイレの汚物袋を便座にかぶせる



3 凝固剤を入れて用を足す



用を足した後に凝固剤を入れるタイプもあります

4 汚物袋を取り出して空気を抜いて口をしっかりと結ぶ



ゴミの回収が再開するまで自宅内で保管する



わが家の防災メモ

災害種別ごとにわが家の危険度を確認し、避難先や連絡方法などを決めておきましょう。

✓ 水害・土砂災害のとき

避難のタイミング

- ☐ レベル3高齢者等避難
- ☐ レベル4避難指示
- ☐ その他
()

避難方法

- ☐ 徒歩
- ☐ 自家用車
- ☐ その他 ()

避難場所

- ☐ 自宅(屋内安全確保)
- ☐ 親戚・知人宅
()さん宅
- ☐ 指定緊急避難場所・
届出避難所
()
- ☐ その他
()

家族との連絡方法

- ☐ LINE
- ☐ 電話
- ☐ メール
- ☐ その他
()

※連絡がとれないときの
集合場所
()

✓ 地震のとき

避難場所

- ☐ いつとき一時避難場所
()
- ↓ 一時避難場所が危険な場合
- ☐ 指定緊急避難場所・
届出避難所
()

避難方法

- ☐ 徒歩
- ☐ 自家用車
- ☐ その他
()

家族との連絡方法

- ☐ LINE
- ☐ 電話
- ☐ メール
- ☐ その他 ()

※連絡がとれないときの
集合場所
()

- ☐ 非常持出袋の
保管場所

- ☐ 備蓄品の保管場所

情報の入手方法

- | | |
|--|---------------------------------|
| ☐ スマートフォン・パソコン | ☐ テレビ |
| ☐ 高岡市防災情報メール | その他 |
| ☐ 高岡市公式ホームページ | ☐ ラジオ |
| ☐ 高岡市公式LINE | ☐ 防災行政無線 |
| ☐ Yahoo!防災速報アプリ | ☐ () |
| ☐ 高岡市公式X、Facebook | |